まきばでひとやすみ。。

前回のメルマが配信日、私は人生初の手術の日でした。この2年程、時々来る不調におかしいなと思って病院に行って診察や検査を繰り返しては、特に処置方法もない…というのを経てきて、5月に激痛を覚えて病院に行ったところ、異常がわかったのでした。わかった時は不安よりホッとした気持ちでした。「何だかわからない」状態より原因と名前がわかった方がずっと楽です。考えてみたら「罪」というのもこれに似てるのかも、と思いました。何となく良くない、悪いものだと思う、そういうモヤモヤ。神様を知ることでそれは「罪」というものだと知り、どうやったら解放されるのかを知る。神様を知らなかったら、いつまでもその「悪いような気がする」モヤモヤの消し方がわからないまま、または知らんプリして生きていくしかないのかな、と。知ったことで「罪」の黒さ、深さをより自覚して逃げたくなることもありますけどね。対処法を知ってるのは感謝なことです。

さて、手術当日のことです。その朝まで、何人もの姉妹たちがみことばや祈りの言葉を送って支えてくれました。私はベッドで待つ間、聖書を開いていました。全く何の恐れも不安もない状態、まさに平安!!でした。いざ、点滴をぶらさげたスタンドをガラガラ引きながら「手術室」という部屋へ向けて廊下を歩いている時、手術室に入って横になりいくつも電気がついた丸い照明を見た時、「おぉ～！ドラマのよう!!」と逆に興奮していました。「眠くなりますよ～」という声が3回聞こえた後はピンクの視界の後眠っていました。しばらくして目覚め、無事に終えたことを知りました。多くの人の祈りに加え、子守りを引き受けてくれた妹、家事諸々をやってくれた夫らにも感謝があふれた日でした。「私が弱い時にこそ私は強い」というみことばを実感させられたのでした。完全に問題ゼロ！の体になった訳ではありませんが全てを益として下さる主が共にいるので超平安！です。

ロバ子